KSP ACADEMIC COMMONS

関西SDGsプラットフォーム大学分科会

万博大学連合イニシアティブ｜キックオフイベント

TEAM EXPO FES同時開催

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025

万博まで1000日。私たち大学・若者は何をしたいのか、すべきなのか、できるのか

提供：2025年日本国際博覧会協会

大阪・関西万博まで、あと1000日。

私たち大学、そして大学生は、万博までに、万博において、万博の後に

社会のみなさまとともに、どんなことを実現したいのか、すべきなのか、できるのか！

これを今日ここで、みなさんと共有したい！

2022.7.24 Sun. 10:00-12:45

会場 大阪大学箕面キャンパス 外国学研究棟1階 大講義室：定員150名

オンライン Zoomウェビナー：定員1,000名 ※共に定員になり次第お申込みを締切らせていただきます。

参加費無料

関西SDGsプラットフォーム（KSP）は、SDGsの達成機運醸成と万博誘致といった目的で、2017年12月に、関西広域連合、近畿経済産業局、JICAによって設立されました。その後、SDGs万博とよばれる2025年大阪・関西万博誘致が成功しました。2020年12月には、関西SDGsプラットフォームには、SDGsに関する大学その他の連携のために大学分科会が設置されました。万博まで1000日となる7月に、2025年大阪・関西万博への協力や連携のために、大学分科会に「万博大学連合イニシアティブ」を設置をいたします。このたび、この「万博大学連合イニシアティブ」の設置のキックオフのイベントを行い、大学・大学生からの発信を行って、今後のさらなる活動・連携につなげます。

■主催：関西SDGsプラットフォーム大学分科会　■後援：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、一般社団法人関西経済同友会、公益社団法人関西経済連合会、関西広域連合、近畿経済産業局、JICA、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ（SSI）、**その他ご依頼中**

参加申込はこちらから

▶ 公募期間 ◀

2022年7月7日 ～7月24日

リアル会場

or

クリック

オンライン

or

クリック

PROGRAM ※敬称略

10:00 ご挨拶

堺井 啓公　公益社団法人2025年日本国際博覧会協会機運醸成局長
角元 敬治　関西経済同友会代表幹事、三井住友銀行副会長

10:10 第1部　大学の万博アクション・ビジョン

喜多 隆	神戸大学	「大学エコシステムによる多様な万博の共創」
大塚 耕司	大阪公立大学	「ボランティアリーダー育成プログラムの将来」
高橋 智幸	関西大学	「大学らしい万博への関わり方の暗中模索」
高橋 真央	甲南女子大学	「一人ひとりの気づきから生み出す未来」
世耕 石弘	近畿大学	「大学祭を活用した大阪・関西万博サテライト会場計画」
根本 慎太郎	大阪医科薬科大学	「再考『いのちと健康を守り、そして未来へ繋げる』」
堂目 卓生	大阪大学	「いのち宣言・会議による共創ネットワークづくり」

◆司会：田和 正裕　大阪大学

10:55 休憩

11:00 第2部　ユースの万博アクション・ビジョン

加畑 佑基 他	甲南大学他、(株)CSK 、分科会メンバー	：福祉
佐座 マナ 他	ロンドン大学(UCL)他、(一社)SWiTCH、分科会メンバー	：環境教育
飯塚 遼馬 他	立命館大学他、inochi WAKAZO Project	：医療・健康
相川 佳苗 他	神戸大学、AIESEC	：国際交流
右近 宣人 他	神戸大学、Re-generation	：産学連携
坂本 翼　他	大阪公立大学、HONAIKUDE	：万博・大学連携
菅 理央　他	神戸情報大学院大学、個人	：多文化共生・包摂
鈴木 千花 他	APU、Japan Youth Platform for Sustainability(JYPS)	：アドボカシー
堤 朋子　他	大阪公立大学、V-station	：ボランティア
水本 彩葉 他	関西学院大学、Re.colab KOBE(リコラボ)	：里山再生・ブルーカーボン
吉田 洵　他	大阪大学、a-tune	：万博・音楽・大学連携

◆司会：高橋真央 甲南女子大学

12:15 第3部　万博アクション・ビジョンに向けての学生ディスカッション

「どんな『いのち輝く社会』を、共に、どう創りたいのか？」

12:40 これからに向けて　河原 源太　大阪大学理事・副学長

◆総合司会 ： 伊藤 武志　大阪大学

提供：2025年日本国際博覧会協会

「万博大学連合イニシアティブ」設置について

従来から、SDGsに関する協力を関西SDGsプラットフォーム（KSP）の大学分科会において行ってきたが、万博まで3年という時期になり、万博における大学間の各種分野での協力の必要性も高まってきた。そこで KSP大学分科会内に「万博大学連合イニシアティブ」を設置する。

「万博大学連合イニシアティブ」趣意

2025大阪・関西万博を機に、大阪・関西だけでなく、日本、そして世界の大学が「いのちのつなぎ手」として協力し、学生・若者の自発的活動、研究の社会への認知と活用、その他あらゆる社会貢献を実現することを目指す。この活動を通して構築されたあらゆるつながりが、万博が終了した後にも、2030年のSDGs達成、さらに人類の夢の実現に向けて活かされることを願う。

「万博大学連合イニシアティブ」活動内容

万博大学連合イニシアティブは、博覧会協会、その他関係者と対話・調整しつつ、テーマ事業、未来社会ショーケース、TEAM EXPO 2025、テーマフォーラム、その他イベントなど、大阪・関西万博に関わる様々な機会を活かし、以下を実施する。

❶「いのち輝く未来社会」を目指す諸活動につながる機会を、次代を担う学生・若者に提供し、活躍していただく

万博前および万博会期における様々な学生・若者の関わりと活動を、当事者の自発性を尊重しつつ支援する。

❷大学・研究機関における研究を、社会への認知・活用につなげる

大学・研究機関における研究を、万博に関わる様々な関係者と共有し、認知してもらい、産官民における「いのち輝く未来社会」の諸活用につなげる。

❸その他大学のあらゆる可能性を社会貢献につなげる

万博を機に、大学のリソースや活動により、社会と共に様々な社会課題を解決し、「いのち輝く未来社会」を構想し、実現していく。